

科目責任者 稲田 俊一郎（英語・言語学研究室）

授業担当者 A組：須田 篤也、B組：吉岡 求、C組：佐久間 健

## ■教育目的（各クラス共通）

日常的な手紙や E-mail の書き方から論文の構成まで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

## ■学習到達目標（各クラス共通）

1. 口語的な英語の表現方法を習得することにより、手紙や E-mail など円滑なコミュニケーションを図る方法を身につける。
2. 英語の文章構成の技法を理解することにより、効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。

## ■授業内容

### A組 須田 篤也

「薬学英语基本用語 用例集」を用いて、病名・臓器名・医薬品名等に関する語彙および例文を学習し、薬学の領域や医療従事者が用いる英語表現を豊かにすることを目指します。また、テキストとは別にプリント教材を用意し、英文エッセイや報告書に用いられる文章校正および英語表現の学習を通して基本的な英文エッセイの書き方を学びます。

**準備学習（予習・復習）：** テキストの指示された箇所を予習してください。毎回、予習箇所に関する確認テストを行います。その確認テストは学期末試験の範囲となりますので、必ずテキストを再確認して復習をして下さい。英文エッセイに関しては、毎回の授業で学んだことを最終的には総合して英文エッセイにまとめて提出してもらいますので、毎回の授業で学習した内容の繋がりを意識して下さい。

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：** 成績は授業内の確認テスト（20%）、期末試験（80%）で総合的に評価します。英文エッセイは期末試験の一部として評価に加えます。

**教科書：**『薬学英语基本用語用例集』瀬谷幸男 他（南雲堂）

### B組 吉岡 求

この授業では、英語で論理的な文章を作成するための基礎的な技術の獲得を目指す。具体的には、高校レベルの文法・語彙を（単に読むだけでなく）自ら「使える」レベルにまで習熟するとともに、論理的に文章を構成するためのパラグラフ・ライティングの技術を身につけることを目標とする。学期前半は、文法・語彙などの問題演習を基本に、英文作成に必要な基礎体力を身につける。学期の後半には、実際にある程度まとまりのある文章を作成し、レポートとして提出してもらう予定。その他、詳細な授業内容については、初回ガイダンス時に詳しく説明する。

**準備学習（予習・復習）：** 学期前半は事前に指定した問題を解いてもらうことが予習となる。学期後半では、授業で学習した事項を参考にしつつ、短い英作文の課題を課す。

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：** 期末試験（50%）、出席点、平常点、レポート（50%）で総合的に評価する。

**教科書：**『Smart Writing: Active Approach to Paragraph Writing』仲谷都／吉原学／Ruth Fallon 共著、成美堂出版 ISBN：9784791960323

### C組 佐久間 健

この授業の目的は、自分の考えを英文エッセイによって伝えるスキルの基礎を身につけることです。一学期を通して、最低3つ以上のパラグラフ（段落）から構成された英文エッセイを作成します。必要に応じて文法事項の復習も行います。

読み手に何かを伝えるためには、文章を論理的に構成しなければなりません。第一に、英語での文章構成の基礎を身につけてから、パラグラフ構成の基本を学習します。一つのパラグラフにつき一つのアイデアが鍵です。それを冒頭で表すトピック・センテンスとその内容を詰めるサポート文を用い、一貫性のあるパラグラフを書きます。第二に、幾つかの種類のパラグラフを使いこなせるよう練習を重ねます。第三に、決められたトピックに関する自分の意見をエッセイにまとめます。パラグラフを組み合わせて説得力のある構成、内容に仕上げることを目指します。

学期中に複数回レポート課題を出します。これは Word ソフトで作成した英文エッセイを e メールで提出してもらい、それを添削してコメントと共に e メールで返却する、という形で行います。従って、Windows パソコンの利用が前提です。

最後の期末試験では、このコースで学習したことの問題を問う問題を出します。

**準備学習（予習・復習）：**【予習】テキストの指示された部分をしっかりと予習してきてください。また授業内でエッセイを書く週は、何について書きたいかネタを集めてくると作業が進むでしょう。【復習】レポートの準備は基本的に授業時間外に行います。レポートは、辞書をかまめに引き、言葉の意味を吟味しながら書いてください。また、文法事項の確認も大切です。

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：** クラス参加（出欠を含む、10%）、レポート（50%）、期末試験（40%）

**教科書：**『Skills for Better Writing』石谷由美子他著（南雲堂）